

(S11) ライブラリー・ラウンジの開催（2014～）

- 第1回 人生の先輩と本について語ろう (地域アドバイザー 8名)
- 第2回 ゲームで数学を解き明かしてみよう (数学科教員 25名)
- 第3回 日本とアメリカ合衆国との生活から見たもの
(地域アドバイザー 61名)
- 第4回 元企業面接官が教える知って得する会社の取組内容
(地域アドバイザー 32名)
- 第5回 数学者が見るアメリカの学生(カリフォルニア州立工芸大教授 22名)
- 第6回 あなたのコミュニケーション能力って就活で活かせますか
(学生アドバイザー 17名)
- 第7回 人を惹きつけるコミュニケーションの心理術
(学生アドバイザー 13名)
- 第8回 自分のこと、うまく話せますか？～自己表現の方法、教えます～
(学生アドバイザー 13名)
- 第9回、11回、12回、17回ひとりじゃない読書への誘い：ゆるく本でおしゃべり、しませんか (ビブリオバトル出場学生 各回14～18名)
- 第10回 これだからおもしろい！スポーツの魅力
(リオ五輪代表学生のトーク会 66名)
- * 副学長、体育系教員や運動部、県外一般の人もHPで知り参加
- 第13回 音学と科楽 (物理学教員 32名)
- 第14回 アスリート飯 (医療栄養学科教員 82名)
- * 会場は学食、選んだ食品サンプルの栄養価が瞬時にわかる「食育SATシステム」体験を院生がサポート、陸上部の学生も参加
- 第15回 問題解決ストーリー (地域アドバイザー 72名)
- 第16回 It's small library～小さな本の世界へようこそ～
(学生アドバイザー 13名)
- 第18回 就活必勝法 (経営学部教員 50名)

（S23） 地域相互協力図書館合同主催公開講座（2009～）

2009年度より年1回開催。公共図書館の要望に応え、教員に講師依頼（無料）、場所の提供、広報は各市町の広報誌に掲載依頼。（ ）は、開催館と参加者数。

2009.11 中島歌子の生涯／『おくの細道』の旅の成就

（大学 67名）

2010.11 室生犀星：切なき思ひぞ知る／小林一茶：『寛政三年紀

行』わらびの駅

（大学 47名）

2012.3 原発と人間

（鶴ヶ島市立図書館 170名）

2012.11 くすりにやさしく：知っておきたいくすりのかたちと正しい

使い方

（坂戸市立図書館 49名）

2014.3 暮らしに役立つ身近な経済・経営：高度成長を続ける中国と
どう付き合うのか

（大学 42名）

2014.11 地場産業の現在：JAPAN ブランドによる今治タオルの復活

（大学 54名）

各市町の地場産品展示、今治市立図書館から資料展示と来館、大学からの展示（化粧品、ジャム、石鹸、休耕地活用プロジェクトの日本酒、坂戸市連携のハナマンテンを使った担々麺）プロジェクト担当教員も参加説明

2015.11 TPPとアメリカの世界戦略：オバマ政権の推進するTPPの

真の狙いは何か

（大学 91名）

2017.1 世界の中の日本、日本の中の世界：身近なグローバリズムを

考える

（大学 85名）

2017.12 地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割

（鶴ヶ島市立図書館 52名）

2018.10 健康食品との正しいつきあいかた （坂戸市立図書館 75名）

（S24） 出版社の講演会（2013～）

読書推進と図書館利用の促進を目的に書店の協力を得て開催。

2013.11&12 岩波書店現役編集者が語る編集の仕事：本が生まれるまで

（岩波書店編集者 1回目 57名、2回目 54名）

「岩波書店がお薦めする本100選」展示と学生選書同時開催

『新文化』2013.12.5号 “編集者が「本づくり」解説：大学生向け読書推進”

2014.5 本が読みたくなるカラクリ：出版社の営業ってナニ？

（元筑摩書房社長・現柏書房取締役 73名）

「筑摩書房元社長が選ぶ、大学生に読んでほしい本300冊」展示と学生選書同時開催

2014.10 知っておこう著作権 （岩波書店編集総務渉外担当者 132名）

2017.5 出版社での経験をもとに＜伝えるということ＞について

（元小学館営業部門執行役員・元ネットアバンス副社長・現週刊読書人社長 152名）

ジャパンナレッジ運営の経験談も

*新聞社からの紹介、ビブリオバトルの波及効果

『週刊読書人』の書評キャンパス新設の相談から講演会の依頼

2017.12 大手出版社の仕事（文芸春秋・雑誌編集や書籍営業経験者 296名）

フリー編集者が聞き手となる対談形式

現代政策学部「キャリアデザイン基礎Ⅱ」と連動

2018.12 出版社の仕事 （青土社・若手編集者 169名）

現代政策学部「キャリアデザイン基礎Ⅱ」と連動

(S28) SALA Open Library Weeks (2013～)

- オンラインを利用した広報活動：ホームページ、Twitter、SNS を中心に
- 図書館の学習支援体制（ラーニングコモンズ）
- 大学図書館の企画展示：文教大学図書館の事例～教職員おススメの一冊～
- 学生アドバイザーの立ち上げから成果まで
- 新図書館のコンセプト、学習支援機能としてのラーニングアドバイザーの役割、アクティブラーニングとしての図書館機能
- ラーニングコモンズへの改修から1年を経過して
- 図書館と他部署との融合した学習支援の実際、自動書庫、ゾーニングの実際
- 展示の多様性：展示コーナーの利用を中心に学内に向けた広報活動を考える：研究室訪問をしてみませんか？
- 電子ジャーナルの利用統計：取得・集計・利用
- 図書資料のカビ対策
- 図書館オリエンテーションの実施方法について
- NWEC40周年「図書館の連携：男女共同参画に関する情報を中心に」
- 学生と共に考える学生協働
- ビブリオバトルから生まれる連携